

修了生の声 インタビュー



こちらのインタビューの
ロングバージョンを
活躍塾HPからご覧いただけます



インタビュアー

麓 加誉子さん(第4期修了生)

我が子3人の不登校が活動のきっかけ
「はらっぱとそらプロジェクト」代表
居場所と情報提供の活動
ゆっくりのんびり元気を貯める
パトラン松戸チームなども
松戸暦20年 #フリーライター



ぼんやり考えていたことが形になり、 居場所も見つけた

まだ元気があるうちに地域で知り合いを作りたい、何か役に立ちたいし自分の居場所もほしいと考えるようになり入塾しました。講座では市内にたくさんの活動があることを知りびっくり!松戸市の印象がぐんとアップしました。

何かしたいと思っていて入塾を迷われている方はぜひご参加を考えて頂くと良いと思います。たくさんの人や想いに会えて、安心して学べて、修了後も関係が繋がって広がりますよ。私は同期と始めた「子育て+プラスゆとりにっこり」がとても心地よい居場所になっています。

杉本容子さん(第6期修了生)

同期の仲間と「子育て+プラスゆとりにっこり」(高齢者が行う子育て支援を目的とした団体)を立ち上げ
いよいよ2年目!変化の年
今年は新松戸へ #手芸が好き
放課後デイでも週2日ほど勤務
松戸で子育てを経験 #松戸が好きに



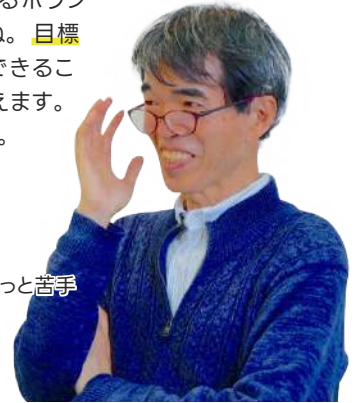
自分では持てない熱意に 巻き込まれる楽しさも

活躍塾に入る時は目標なんてなかったんです。市民活動ってどんな感じ?と疑心暗鬼ですらあった(笑)。それなのに、実地体験の「さんま食堂」は楽しくて、関わり始めたら面白くなって、こまめで楽しく長く手伝えるとは予想外でした!

出かける用事はできるし、体は動かせるし、健康維持にとってもいいです。多少の失敗が許されるボランティアの気楽さも嬉しいですね。目標なんてなくて大丈夫。自分にできることを再発見するきっかけがもらえます。自分のために楽しくやりましょう。

三谷 豊さん(第5期修了生)

今日あるもので料理をつくる「さんま食堂」(子ども食堂)シェフ
実は子どもと直接関わるのはちょっと苦手
松戸の全ての道を歩いて制覇
グラフィックデザイナー
息子の不登校を経験
米ぬかクッキー開発研究中



行動する勇気をもたらえる。 一歩踏み出したい方はぜひ

長年の夢だった大学で日本語教育を学ぶ中、知人からパンフレットをもらい活躍塾に興味を持ちました。多文化共生の講義では具体的なデータが示され、「外国人の子どものための勉強会」の実地体験もまさに実学で大満足。

活躍塾に入らなければ出会えなかった熱意ある方々からは、私も何かできそう?と勇気ももらいました。「やさしい日本語ワークショップ」を始めことができ、行動が変わったと感じます。この先の人生にかけがえのない貴重な体験と目標を得られました。

養老美佳さん(第7期修了生)

松戸生まれ松戸育ち
でもサボセンは塾で初めて
「やさしい日本語」ワークショップはじめました #日本語教育
上本郷さんさんカフェ常連
19歳でワーホリで豪州へ
外国語への興味は子どもの頃から



自分の人生にきっかけと楽しみの 種を蒔いてみよう

介護×落語の活動を広げたくて参加しましたが、視野がググッと広がりましたね。自分は高齢者の問題に囚われていたのかと思うほど、色々な課題が繋がっていることを知り、それらをなんとかしたい!とエネルギーにあふれた人が松戸にたくさんいて、刺激をもらいました。

生活と地続きの話を多面的に聴いて、難しさを感じませんし、自分にできることが見つかるし、きっかけをたくさん得られます。今すぐの何か、でなくていい。5年後や10年後の人生がきっと楽しくなります。

中村貴憲さん(第5期修了生)

落語は大学時代から
「八ヶ崎落語研究会」主宰
自治会・社協・地域包括支援センター・高齢者サロン等で月2回ほど公演
現役介護士
笑いと共に介護体操!を広める
将来は居場所を作りたい

